

第3回ワークショップ(最終回)を開催しました！

平成28年2月17日、第3回のワークショップ(以下、「WS」)を2町内の住民の方々に参加いただき、実施しました。

WSでは、これまでのプログラム実施の成果を確認するとともに、「災害によって大きな被害が生じてしまった」と仮定した上で、どのようなまちに復興させたらよいか、そのまちの姿を描く『復興まちづくり提案』の案を、4つのグループに分かれて話し合い、グループ発表を行って、住民のみなさんの思いや意見を共有しました。

最後に、1丁目及び2丁目の会長さんから、感想や今後の取り組みに対するお考えをお聞きするなど、WSを総括し、幕を閉じました。

開催日時：平成28年2月17日(水)
19時～20時30分

開催場所：田町一丁目公民館

当日のプログラム

1. ワークショップのふり返り
2. 資料説明
 - ①第2回の成果の確認
 - ②復興まちづくり提案(案)について
3. グループワーク
 - ①復興まちづくり提案(案)について
 - ②発表(意見の共有)
4. ワークショップの総括

『復興まちづくり提案』(案)の概要 (裏面の図をご参考ください)

☆拠点づくり

- 地区防災拠点**：公園と公共施設などで構成する、災害時の避難場所、災害対応拠点
- 防災街区拠点**：一時的な避難場所、災害時の応急・救急対応の拠点となる公園の活用・新設

☆道路づくり

- 主要防災道路**：緊急輸送にも対応した地域の主軸となる道路(道幅20m)
- 地区防災道路**：緊急車両の通行や避難経路の役割を担う骨格となる道路(道幅10m)
- 補助防災道路**：各防災街区内外と主要・地区防災道路をつなぐ道路(道幅6m)

☆防災街区のまちづくり

- 防災街区**：主要・地区防災道路で囲まれた街区
- ＜**防災街区内で実施すること**＞
 - ・倒れない・燃えにくい住宅への現地での再建
 - ・行き止まり道路の解消
 - ・道路用地などを確保するために所有する敷地の利用ができなくなった方や、住宅再建が困難な方向けの共同住宅の建設
 - ・ブロック塀の生垣化

☆地域のコミュニティづくり

- ・自治会への加入促進など、地域コミュニティの強化
- ・手助けが必要な方に関わる情報の共有化

災害を繰り返さない被災前より安全で、快適なまちへ

『万が一』に備えたまちづくりへ！

3回にわたるWSを通じ、「災害によって大きな被害が生じた」と仮定し、スムーズな復興を実現するための手順を体験していただきました。

参加いただいた住民の皆さんからは、「若手の住民なども加えながら、万が一に向けた体制を拡充・発展させたい」という声があがりました。

このWSでの体験を、地域ぐるみでの安全で快適なまちづくりに是非つなげてください。

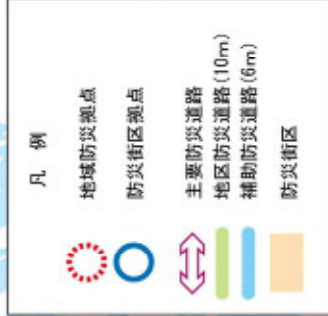


復興まちづくり提案(案)

※ご注意※ この(案)は「復興の手順を体験すること」を目的としたWSのまとめであり、提案の内容のとおり復興させることを計画・約束するものではありません。

【全体事項】

- ・堤防へ登る階段へ手すりを設置する。
- ・堤防を高くする。
- ・安倍川の浸透を実施する。
- ・個人病院を集積させ、医療拠点を形成する。
- ・一方通行をなくす。
- ・防災街区拠点を避難地として大きく造る。(公園と高層の防災センター等で構成)



【防災街区単位で実施する方策】

- ・防災道路用地を確保するために、敷地利用が困難になった方などのために、共同住宅を設置する。
- ・行き止まり道路を解消する。
- ・ブロック塀を生垣にする。
- ・現地再建を実現する。

◇お問い合わせ先◇

静岡市 都市局 都市計画部 都市計画課 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
Tel.054-221-1406 Fax.054-221-1117